

令和6年度 第1回蕨市立図書館協議会 次 第

日 時 令和6年8月25日（日）

午前10時00分～正午

会 場 図書館 3階 会議室

1 開 会

2 委嘱状交付

3 あいさつ

4 自己紹介

5 議 題

- (1) 蕨市立図書館協議会会長及び会長代理の選出について 【資料1】
- (2) 図書館事業のあらましについて 【資料2】
- (3) 令和5年度事業報告について 【資料3】
- (4) 令和6年度夏季休業期間中における図書館の利用時間について 【資料4】
- (5) 教育委員会事務事業点検評価（図書館）について 【資料5】
- (6) 令和5年度窓口サービスアンケート（図書館）の結果について 【資料6】
- (7) 第2次蕨市子ども読書活動推進計画進捗状況調査結果について 【資料7】
- (8) 第3次蕨市子ども読書活動推進計画の策定について 【資料8】
- (9) さよなら私のクラマーラッピング自動販売機の設置について 【資料9】
- (10) 蕨市立図書館の空調設備改修工事に伴う臨時休館について 【資料10】
- (11) 蕨駅西口新図書館移転に係る検討状況について 【資料11】

6 その他

7 閉 会

蕨市立図書館協議会委員名簿

※敬称略

任 期 令和6年7月16日～令和8年7月15日

令和6年7月16日現在

No.	選出区分	名 前	所 属 等	就任年月日	在任年月数
1	学校教育の関係者	原 田 卓 治	中央小学校長	R4. 4. 1	2 年 3 か月
2	学校教育の関係者	椿 智 絵	第二中学校長	H31. 4. 1	5 年 3 か月
3	社会教育の関係者	岡 本 和 子	蕨市地域女性団体連絡協議会	H26. 7. 16	10 年 0 か月
4	社会教育の関係者	中 村 和 弘	公民館運営審議会	R6. 7. 16	0 年 0 か月
5	家庭教育の向上に資する活動を行う者	高 濱 直 美	蕨てんとうむしの会	R4. 7. 16	2 年 0 か月
6	学識経験のある者	町 田 敏 子	元小学校教員	H10. 7. 16	26 年 0 か月
7	学識経験のある者	蓮 沼 昌 代	図書館ボランティア	H22. 7. 16	14 年 0 か月
8	学識経験のある者	近 江 睦 代	学校図書ボランティア 図書館ボランティア	H24. 7. 16	12 年 0 か月
9	市民	荻原 由美子	公募	H30. 8. 17	5 年 10 か月
10	市民	杉本 孝一郎	公募	R6. 7. 16	0 年 0 か月

*退任委員（R6. 7. 15 付け）

小 西 政 勝	在任期間	令和4年	7月16日～令和6年	7月15日	2 年 0 か月
富岳 貴久雄	在任期間	令和2年	7月16日～令和6年	7月15日	4 年 0 か月

(1) 蕨市立図書館協議会会長及び会長代理の選出について

会 長	氏
会長代理	氏

<参考> 蕨市立図書館協議会 会長及び会長代理関係例規

○蕨市立図書館設置及び管理条例（抜粋）

（会長及び会長代理）

第7条 協議会に会長及び会長代理をそれぞれ1人置き、委員が互選する。

2 会長は、会議の議長となり、会務を総理する。

3 会長代理は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(2) 図書館事業のあらましについて

会議当日にスライドにて説明いたします。

(3) 令和5年度事業報告について

別添「令和5年度図書館概要（蕨市立図書館）」参照。

（４）令和６年度夏季休業期間中における図書館の利用時間について

期 間 令和６年７月２１日（日）から８月２８日（水）まで

利用時間 変更前： 火曜日～金曜日 午前１０時から午後６時まで
 変更後： 火曜日～金曜日 午前 ９時から午後６時まで
 ※土曜日・日曜日・祝日については、変更前後とも午前９時から午後６時まで
 開館しています。

変更理由 小・中学校の夏季休業期間中における平日の利用時間を拡大することにより、児童・生徒の利用促進並びに一般利用者のサービス向上を図るため

広 報 館内掲示、ホームページ、広報等による周知

そ の 他 夏季休業期間中の休館日
 館内整理日：毎月第４金曜日 ※８月は開館します。
 休 館 日：毎週月曜日

参考

蕨市立図書館設置及び管理条例施行規則（抜粋）

（利用時間）

第４条 図書館の利用時間は、次の表のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更することができる。

館名	曜日	利用時間
図書館	<u>火曜日～金曜日</u>	<u>午前10時～午後6時</u>
	土曜日～日曜日	午前9時～午後6時

(5) 教育委員会事務事業点検評価（図書館）について

1. はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとなっています。

2. 目的

蕨市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を自ら点検評価し、効果的な教育行政の推進と教育目標の達成に資するとともに、その結果に関する報告書を議会へ報告し公表することで、市民への説明責任を果たし、より効率的で市民に信頼される公正で開かれた教育行政を推進することを目的としています。

3. 事務事業点検評価の対象及び方法

蕨市教育行政の点検評価では、令和2年度からの5年間を計画期間とする第2次蕨市教育振興基本計画の「施策の展開・主な取り組み」の中から、図書館は「図書資料の貸出（予約）事業」を選定し、令和5年度に実施した事業の取り組み状況及び成果、課題、今後の取り組みを踏まえ、実施しました。評価シートでは、取り組みにおける効果と課題の観点で事業を検証し、コストと実績を勘案したうえで、取り組みに対する評価として、総括的に4段階評価を実施することといたしました。

なお、この事務事業点検評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する方など、外部の方々に、施策についての評価をいただくとともに、さまざまなご意見、ご助言をいただきました。ご意見、ご助言をいただいた方々は、次のとおりです。

(敬称略)

氏 名	所 属 等 （ 現 職 等 ）
佐 藤 一 子	東京大学名誉教授
梅 谷 知 弘	蕨市PTA連合会会長

4. 事務事業点検評価の結果

評価につきましては、各施策の目標が「達成されている」をA、「どちらかという」と達成されている」をB、「どちらかという」と達成されていない」をC、「達成されていない」をDとする4段階の評価で行い、図書館は担当課評価、外部委員評価、ともに「A」の結果となりました。

令和6年度 事務事業点検評価シート

事業番号	10	事業名	図書資料の貸出（予約）事業
		担当部署	図書館

教育振興基本計画 での位置付け	基本目標	2 生涯学習を支える社会教育の充実
	施策	1 学習環境と学習機会の充実
	施策の展開・主な取り組み	4 図書館サービスの充実

事業の内容	図書資料等の貸出・予約、県内公立図書館ネットワークによる相互貸借制度の活用
事業の対象	市内に在住・在勤・在学する者のほか、川口市、戸田市、草加市及びさいたま市に在住する者
事業の目的・目指すべき姿	〔事業の目的〕 利用者の多様なニーズに応え、教養の向上、レクリエーションおよび日常生活に役立つ資料などを幅広く収集し、提供する。 〔目指すべき姿〕 高度化、多様化する情報について、図書資料をより多く収集することにより、利用者の教育と文化の発展に寄与する。

取り組みにおける成果・効果について			
【図書資料等の貸出・予約点数の上限を引き上げ】 利用者の利便性向上を図るため、令和5年7月1日より、図書資料の貸出点数と予約点数の上限を5冊から倍の10点に、視聴覚資料のうちCDとカセットテープを4点から5点に、DVDを3点から5点にそれぞれ引き上げた。これにより、令和5年度の年間貸出件数は前年度比約3%の増、年間予約件数は約14%の増となった。 【大人向けの映画会「図書館映画会」を新規開始】 令和5年7月9日に風浪ゆう原作の『流浪の月』を、11月19日に垣谷美雨原作の『老後の資金がありません』を上映。それぞれ15人、19人参加。映画をきっかけに小説に親しむ機会を創出した。令和6年度も継続予定。 【令和5年度わらび電子図書館サービスの利用状況】 令和5年度末時点で、電子書籍5,479冊を所蔵、延べ利用者数は22,579人、延べ閲覧冊数は38,889冊。			

取り組みに対する担当課評価	A	前回評価結果	A
---------------	---	--------	---

参考指標	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込み）
年間実利用者数（人）	9,016	9,010	8,540	9,000
年間貸出件数（件）	381,693	356,034	367,278	370,000
年間予約件数（件）	37,975	35,523	40,486	42,000

決算額の状況	年度	令和3年度 決算額（円）	令和4年度 決算額（円）	令和5年度 決算額（円）	令和6年度 予算額（円）
	事業費	36,661,488	42,978,671	40,199,420	43,306,000
	人件費	41,050,000	42,920,000	43,500,000	43,500,000
	合計	77,711,488	85,898,671	83,699,420	86,806,000

残されている課題・今後の取り組みについて	
・令和6年6月1日、第3次蔵市子ども読書活動推進計画を策定した。計画期間は令和11年5月までの5年間であり、同計画に基づき、引き続き家庭・地域・学校・行政が連携して子どもの読書活動の推進を図っていく。 ・令和6年4月23日より『わたしのよんだ本～読書・よみかせ手帳～』の配付を開始した。未就学児の読書・保護者からの読み聞かせのきっかけづくりの一助となるよう、更なる児童書の充実に努めていく。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で休止していた保健センターでのブックスタート事業時の絵本の読み聞かせを令和6年度より再開した。事業継続に向け、読み聞かせを担っていただくボランティアの募集・育成に取り組んでいく。 ・令和7年度より『セカンドブック』の配付を予定していることから、配付対象年齢や配付する図書の選定につき検討を進めていく。	

外部委員評価	評価結果	評価コメント
	A	県内公立図書館のネットワークによる相互貸借制度、子ども読書活動推進計画など、市立図書館としての行き届いたサービスの体系がきちんと機能している。読み聞かせボランティアなど、読書と対話を媒介するような市民相互の支援は、子どもたちや市民の新たな関心を育む。ボランティア活動参加のきっかけづくりにも配慮した広報、ワークショップなども期待したい。／子どもたちの活字離れが著しいと感じています。電子書籍の活用も求められるとともに、学校教員からもアイデアを求め、本の面白さを広めるための施策も検討して頂きたいと思っています。

(6) 令和5年度 窓口サービスアンケート（図書館）の結果について

1. 事業概要

(1) 実施期間

令和6年1月10日（水）～1月24日（水）（全13日間実施）

(2) 実施場所

図書館1階 カウンター

(3) 実施方法

期間中、来館者に回答用紙を配布し、記入いただいた回答用紙をカウンターに設置した回収箱に投函いただいた。

(4) 調査内容

下記の設問項目について、「よい（満足）」・「ややよい（やや満足）」・「普通」・「やや悪い（やや不満）」・「悪い（不満）」の5段階で評価。併せて、具体的にどこが悪かったか、良かったのかを記入していただく自由載欄を設けた。

2. 結果の概要

(1) 回収数

136件

(2) 設問項目ごとの結果

	よい	ややよい	普通	やや悪い	悪い	無回答
①職員のあいさつや身だしなみについて、どうでしたか	99件	14件	19件	2件	2件	0件
②職員の言葉づかいや態度について、どうでしたか	100件	16件	16件	2件	1件	1件
③職員の説明は、わかりやすかったですか	94件	16件	23件	2件	0件	1件
④用件が済むまでの時間は、どうでしたか	80件	20件	32件	3件	1件	0件
⑤本日の窓口サービスの総合評価は、どうでしたか	98件	17件	17件	3件	1件	0件
合 計	471件	83件	107件	12件	5件	2件
割 合	69.3%	12.2%	15.7%	1.8%	0.7%	0.3%

(3) 自由意見 (19件)

①お褒めの言葉 (11件)

- ・いつも丁寧に対応していただいているので、これからも続けていただきたいです。
- ・2歳、4歳の子の為に通っています。本を破いてしまった時、もう二度と借りられないと覚悟していましたが、優しく対応していただき、安心しました。その節はすみません。いつもありがとうございます。
- ・小さいけど良い本が沢山あり、落ち着いた良い図書館だと思います。いつも、ありがとうございます。
- ・分からないところはいつでも平気に声かけられるし、安心できる。

など

②接遇へのご指摘等 (4件)

- ・人によって対応が極端に違う。
- ・貸出のときは、きちんと手渡ししてもらいたい。カウンターの台の上を滑らして渡す職員が多い。
- ・ある一部のスタッフの態度が上から目線のようなのでした。

など

③その他のご意見 (4件)

- ・図書館は月曜日に開館してほしいです (他の図書館も月曜休みが多いため)。
- ・予約票の予約とリクエストを分けてほしいです (未所蔵の図書のリクエストと所蔵図書の予約の様式を別にしてほしい)。

など

(7) 第2次蕨市子ども読書活動推進計画進捗状況調査結果について

令和5年度実施

令和5年4月～令和6年3月第2次蕨市子ども読書活動推進計画進捗状況調査結果

調査概要

第2次蕨市子ども読書活動推進計画の進捗状況を把握するために調査を行う。

図書館以外の団体については、アンケート調査を実施する。

調査の内容は、第3章の「読書活動を推進する具体的な取組」についての実施状況を把握する。

調査により実施状況を把握したのち、実施割合の低いもの(網掛け部分)については、対策を検討する。

調査結果1 家庭における読書活動への支援

No	取組内容	有無	回数等(令和5年度実績)
①-1	保健センターでの4か月児健診にあわせてブックスタート事業を実施	有	24回実施、479名参加 ※対面での読み聞かせは中止
①-2	ボランティアが読み聞かせを行い、絵本の楽しさや絵本を通して親子の絆を深めることの大切さを保護者に伝える	有	おはなしわらびっこ・・・16回実施、150名参加 小学生のためのお話会・・・12回実施、81名参加
②-1	親子で参加する読み聞かせ講座の実施	有	日曜紙芝居・・・10回実施、87名参加 絵本と紙芝居・・・41回実施、370名参加
③-1	推奨図書リストの配布	有	平成30年に作成。令和4年4月に改訂し発行。令和5年度も引き続き図書館で配布。
④-1	集団に向けて読み聞かせを行う人を対象にボランティア講座を開催	有	ボランティア講習会・・・1回実施、29名参加
⑤-1	ボランティアや団体の活動を支援するため、団体貸出を実施	有	団体貸出件数・・・18,151件
⑥-1	ボランティアや団体の活動を支援するため、機材の貸出や会議場所等を提供	有	毎月第1・3水曜日と金曜日、及び第1火曜日にボランティア団体に会場を提供した。

〈進捗状況〉

お話会や紙芝居などの定期講座については、ボランティア団体の方々のご協力のもと、当初の予定どおり開催することが出来た。

また、子どもの読書活動に係わる団体・グループに向けて団体貸出を実施し、イベント開催時等の一助とされている。

〈課題〉

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、永らく中止をしていたブックスタート事業における対面での読み聞かせについては、令和6年度から再開予定。

〈今後の対応〉

引き続き、ボランティア団体や関係機関と連携し、子どもたちが読書に親しむためにできることについて検討していく。

調査結果2 地域(福祉・児童センター、児童館、公民館)における取組

No	取組内容	有	回数等	無	達成率
①-1	年齢や発達段階を考慮した蔵書の選定(福祉・児童センター)	1	-	0	100%
①-2	図書館からの団体貸出の活用(福祉・児童センター)	1	年300冊 1	0	100%
①-3	図書館のリサイクル図書の活用による本と触れ合える環境づくりの整備(福祉・児童センター)	1	年40冊 1	0	100%
②-1	市内3か所の分館の資料を充実させ、いつでも本が手に取れるよう整備する(塚越分館、北町分館、錦町分館)	3	3分館蔵書数:18,402冊 うち児童書数:12,787冊	0	100%
③-1	地域の子どもたちに絵本の読み聞かせを実施(福祉・児童センター、公民館)	8	月1回 2 月2回 1 月5回 1 年9~10回 3	0	100%
③-2	0. 1. 2. 3歳児の年齢別で参加者親子を対象とした絵本の読み聞かせの実施(児童館)	3	月1回 1 月3回 1 年10回 1	1	75%

※上記以外の実施事業

・読書感想文教室・・・年2回、小学2～4年生を対象とし、読書感想文についての講座を実施。 ・みにみにおはなし会・・・年11回、自由に参加していただいた乳幼児親子を対象とした絵本の読み聞かせを実施。 ・おはなしぼん・・・年11回、自由に参加していただいた乳幼児親子を対象とした絵本の読み聞かせを実施。 ・おはなしあのね・・・月1回、読み聞かせグループ「じゃんけんぽん」さんによる乳幼児対象の絵本の読み聞かせを実施。 ・おはなしあのね(小学生)・・・年1～2回、小学生低学年にむけての読み聞かせを実施。 ・平和を願って紙芝居・・・年1回、近隣の保育園で平和に関する紙芝居を行う。 ・みきおねえさんのミニシアター・・・月1回、ボランティアによる乳幼児親子向けの手遊び・紙芝居・エプロンシアターなどを実施。 ・しもわらびベビーパーク・・・年5回、0歳児とその保護者を対象とした子育て講座で、絵本の紹介や読み聞かせを実施。 ・しもわらびSAKURAパーク・・・1～3歳児とその保護者を対象に工作や運動を通して親子の絆を深め、地域に子育ての輪を広げることを目的に、紙芝居の読み聞かせを実施。 ・うさちゃん学級・・・年1回、2・3歳児とその保護者を対象に工作や運動を通して親子の絆を深め、地域に子育ての輪を広げることを目的に行っている。その中で、紙芝居の読み聞かせを行っている。 ・子育て学級わいわいすくーる・・・年1回、2、3歳児向け子育て学級の中の1つのプログラムとして読み聞かせを行っている。
--

〈進捗状況〉

地域における子ども読書活動は、公民館をはじめ、福祉・児童センターや児童館において幅広く事業が展開されており、地域の住民にも大いに活用いただいている。

〈課題〉

令和5年度は、今まで課題となっていた新型コロナウイルスの感染状況が大分落ち着きを見せたことから、多くの事業を予定どおり開催することができた。引き続き、感染状況の動向を注視し、予防措置を継続しながら事業を行っていく。

〈今後の対応〉

引き続き、地域と図書館が連携し、地域における子ども読書活動の推進に向けた施策を講じていく。

調査結果3 保育園・幼稚園における取組

No	取組内容	保育園			幼稚園			達成率
		有	回数	無	有	回数	無	
①-1	園生活の中で年齢ごとに読み聞かせを日常的に実施する	5	週5回 1 月1回 1	0	4	週5回 3	0	100%
②-1	園内の読書環境を整備し、子どもたちの発達段階に応じた選書を行う	5	-	0	4	-	0	100%
②-2	幼児のための月刊誌を購入する	5	-	0	4	-	0	100%
②-3	上記月刊誌を家庭に貸し出しをする	5	-	0	1	-	3	67%
③-1	園(クラス)だより等を通して、子どもが絵本を楽しむ様子を保護者に伝える	5	年1回 1 年数回 2	0	3	週1回 1 年5回 1	1	89%
③-2	(一日保育士体験実施時等に)園で保護者に絵本や紙芝居を読んでもらう	3	年1回 1 年2回 1	2	1	月1回 1	3	44%

※上記以外の実施事業

- ・ 絵本の会・・・月1回、卒園・在園児の保護者による読み聞かせを実施。
- ・ 早、遅保育時の読み聞かせ・・・園児の希望、または保育の導入として読み聞かせを実施。
- ・ よみきかせジャンケンポン・・・月1回、4、5歳児クラス対象にボランティアの方が絵本持参にて読み聞かせ。
- ・ 延長保育時の読み聞かせ・・・週3～4回、昼食、おやつ後に子ども達に選んでもらい読み聞かせを行っている。
- ・ 延長保育時の読み聞かせ・・・週5回、おかえり支度終了後に読み聞かせを実施。
- ・ 卒園写真撮影時の3、4歳児の保育・・・年1回、撮影時は教職員が参加のため、3、4歳児に係の保護者が大型絵本の読み聞かせを実施。
- ・ 絵本の紹介、貸出・・・月1回、季節のおすすめの絵本を絵本コーナーで紹介したり、貸し出し期間を設けている。
- ・ ボランティアによる読み聞かせ(読み聞かせじゃんけんぽんさん協力)・・・月1回、3～5歳児クラスに2人ずつ入り、季節や年齢に合った絵本を3冊読み聞かせを実施。
- ・ 図書館の団体貸出の活用・・・年4回程度、園所有の絵本や紙芝居だけではなく、図書館より平均20～30冊お借りした絵本と紙芝居を読み聞かせしている。

〈進捗状況〉

各園で保育士やボランティアによる読み聞かせが日常的に実施されている。

〈課題〉

No③-2は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となって以来、感染が落ち着いてきた現在も実施を見送っている園が多い状況である。

〈今後の対応〉

引き続き、各園と図書館で連携し、園児が本に親しみを抱くよう、読書活動の推進を図っていく。

調査結果4 小・中学校における取組

No	取組内容	小学校			中学校			達成率
		有	回数	無	有	回数	無	
①-1	全校で一斉読書の実施	7	週1回 4 週5回 1	0	3	週3回 1 週4回 1	0	100%
①-2	図書委員会児童による業間休みの本の貸出	7	週2回 1 週5回 3	0	2	週5回 1	1	90%
①-3	ボランティアによる読み聞かせの実施	6	年3回 1 月3回 1 月2回 1	3	-	-	-	67%
①-4	教員による読み聞かせの実施	4	年3回 2 年複数回 1	3	-	-	-	57%
①-5	児童による読み聞かせの実施	5	年1回 2 年3回 1 週5回 1	2	-	-	-	71%
①-6	読書感想文コンクールへの参加 (夏季休業中の課題として)	7	年1回 3	0	3	-	0	100%
②-1	図書館と学校が連携して作成した推薦図書リストの配布	5	-	2	1	-	2	60%
③-1	学校図書館の資料整備など、必要に応じたボランティア活動の推進	5	-	2	1	-	2	60%
④-1	夏休みすいせん図書の購入や選書の機会を設け、適切な蔵書管理を行う	7	-	0	3	-	0	100%
④-2	学校図書館教育支援員や図書ボランティアによる学校図書館の環境の整備	7	-	0	3	-	0	100%
④-3	学校図書館教育支援員による学校図書館を活用した授業の支援	7	-	0	1	-	2	80%
⑤-1	多くの本を読んだり読書の幅を広げたりするような推薦図書リストの活用	7	-	0	3	-	0	100%
⑤-2	市立図書館からの団体貸出やテーマ貸出の積極的な活用	7	-	0	2	-	1	90%
⑤-3	市立図書館を訪問(小学校)、ワーキングウィークで図書館業務を体験(中学校)	4	-	3	3	-	0	70%
⑥-1	学校図書館教育支援員を配置し、司書教諭・図書ボランティアと連携体制を構築する	7	-	0	3	-	0	100%
⑦-1	児童の読書活動推進、また、よりよい学校図書館運営のための研修の実施	5	年1回 1 年2回 1 年4回 1	2	2	年1回 1	1	70%

※上記以外の実施事業

- ・図書委員会による掲示物作成・・・年3回、新刊紹介、おすすめ本紹介など。
- ・図書だよりを毎月発行・・・月1回、図書室の利用状況、教師のおすすめ本紹介、季節にあった本紹介など。
- ・図書委員による「クラスでたくさんかりようキャンペーン」・・・年1回、借りた冊数を集計し、昼の放送で紹介。
- ・小学校3年生によるブックトーク・・・国語の学習で、1・2年生に本を紹介し、読み聞かせをした。
- ・図書委員による図書だよりの発行・・・年5回、実施。
- ・読書月間・・・年1回、本を借りた人に「おたのしみくじ」を渡し、当選した人にプレゼントをする。
- ・図書委員だよりの発行・・・年6回、司書教諭による図書館だよりの発行。
- ・図書委員会児童によるポスター発行・・・年4回、新着本紹介、キャンペーンのお知らせ等。
- ・図書支援員による図書だよりの発行・・・年3回、新着本の紹介。
- ・図書委員による発表・・・年1回、絵本の読み聞かせ、読書月間のイベントの紹介。
- ・図書委員会によるキャンペーン・・・週5回、図書室に来る機会、本を読む機会を増やすためにスタンプラリーを実施。

〈進捗状況〉

児童に読書を習慣づけるため、一斉読書や学校図書館の環境整備は、全校で実施されている。

〈課題〉

新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いてきたこともあり、全ての取り組みで高い達成率となっている。前回の調査で達成率の低かったNo①-3ボランティアによる読み聞かせの実施についても、コロナが落ち着きボランティアを受け入れる学校が増えたことで達成率の改善につながった。

〈今後の対応〉

市内小・中学校の全校児童・生徒に、それぞれわらび電子図書館の学校用IDを配布し、学校での朝読書の時間等で活用いただけるサービスを令和4年11月1日より開始した。引き続き、より魅力的なコンテンツを導入していくことで、更なる充実を図っていく。

調査結果5 図書館における子どもの読書活動の推進

No	取組内容	有無	回数等(令和5年度実績)
(1)①-1	子どもたちのニーズに応じた資料の収集	有	リクエストいただいた図書は購入、もしくは相互貸借で適切に提供している。
①-2	学校と連携し、授業等で使う調べ学習に対応した資料の充実を図る	有	学校の授業で使用する目的でテーマ貸し出しの依頼を適宜受け付けている。
②-1	子どもたちの発達段階に応じた児童書の充実	有	0歳児向けの幼児本からYAの本まで満遍なく収集している。
②-2	各分館の児童書の充実	有	定期的に各分館で古くなった児童書を新しいものと交換している。
③-1	おはなし会や子ども向け講座の実施	有	おはなしわらびっこ…16回実施、150名参加
③-2	夏・冬にお楽しみ会を実施	有	夏のおたのしみ会…1回実施、25名参加 冬のおたのしみ会…1回実施、29名参加
③-3	図書館たんけん隊など、図書館に親しみを感じてもらい、図書館の利用促進につながる工夫をする	有	図書館たんけん隊…1回実施、19名参加
④-1	保健センターでの4か月児健診時にファーストブックを手渡し、絵本の読み聞かせを行うブックスタート事業を実施	有	24回実施、479名参加 ※対面での読み聞かせは中止
⑤-1	司書職員の適切な配置に努める	有	司書資格を有する職員8名を配置(正規職員3名、会計年度任用職員5名)
⑥-1	障害のある子どもたちへの読書支援としてLLブックや点字の本の充実を目指す	有	大型絵本や点字絵本を購入し、配架している。
(2)①-1	定期的に、学校のクラスごとに学年に応じた本を図書館で選んで貸出を行う	有	学期毎に各クラスに貸し出している団体貸し出しの図書資料を入れ替えている。
②-1	読み聞かせボランティアを対象に講習会を行う	有	ボランティア講習会…1回実施、29名参加
②-2	ボランティア団体へ視聴覚機材・会議室の貸出などの支援を行う	有	ボランティア団体からの要望に応じて適宜、会場の貸し出しを行っている。
③-1	図書館と各学校が連携が連携し、市で統一した推奨図書リストを作成する	有	平成30年に作成。令和4年4月に改訂し発行。
③-2	学年に応じた推奨図書リストの作成のための本の貸出を行う	有	令和3年度に改訂に向け、リスト入り候補本のあらすじを掲載した一覧を配布。
④-1	県立図書館や他の図書館と連携して本を相互に貸し借りを行う(相互貸借)	有	貸出(蔵の資料→県内他の図書館)…3,756件 借受(県内他の図書館の資料→蔵)…874件
⑤-1	小学生の施設見学を受け入れる	有	小学校施設見学…5回実施、302名参加
⑤-2	中学生に図書館で職場体験をしてもらう	有	中学生ワーキングウィーク…11名参加
(3)①-1	「子ども読書の日」にちなんだおはなし会や本の倍貸しを行う	有	「本だいすき!!」を開催(13名参加)し、倍貸しを実施した。
②-1	「蔵市アウトメディア宣言」に基づき、普及・啓発を行う	有	ポスターを館内に掲示し啓発を行った。

〈進捗状況〉

図書館における子ども読書活動推進の具体的な取り組みとして、児童書の充実をはじめ、子ども向け講座や行事、図書館ボランティアの支援等を実施している。

〈課題〉

乳幼児向けのお話会が出来ていなかったことが課題であったが、令和5年8月13日より乳幼児とその保護者を対象とした『おはなしわらびっこ』を新規に開始した。これにより、乳幼児から未就学児、小学生まで切れ目なくお話しの世界を楽しんでいただける環境を整えることが出来た。

〈今後の対応〉

引き続き、ボランティア団体や関係機関と連携し、子どもたちが読書に親しむための環境づくりに努めていく。

(8) 第3次蕨市子ども読書活動推進計画の策定について

別添「第3次蕨市子ども読書活動推進計画」参照。

(9) さよなら私のクラーラッピング自動販売機の設置について

1. 設置目的

自動販売機を設置することで、図書館利用者の利便性の向上を図る。あわせて、販売機のラッピングを「さよなら私のクラー」のデザインとすることで、地域活性化の一助を担う。

2. 設置業者

株式会社伊藤園

3. 設置場所

蕨市立図書館正面入口付近



4. 設置開始日

令和6年8月1日

5. 行政財産使用料

商品の販売金額の25%に当該月の電気使用料相当額を加算した額

6. その他

大地震などの災害時には、本体に残っている飲み物を無料で取り出せる災害支援型の販売機となっている。

(10) 蕨市立図書館の空調設備改修工事に伴う臨時休館について

1. 臨時休館日程

令和6年7月23日（火）～27日（土）の5日間 終日

2. 臨時休館理由

既存の冷温水発生機が故障したことに伴い、新たに業務用エアコンを設置するための工事を行うため。

3. 館内の対応

- ・冷房故障のため、館内が暑くなっている旨のお知らせを掲示。
- ・扇風機を市内各公共施設から計15台借用し、既存の9台と合わせ館内各所で24台稼働。
- ・個別で稼働できる2階のおはなし会室、読書室、参考資料室の冷房を24度に設定。参考資料室と通路閲覧席を仕切る扉を開放し、冷気を館内全体に流す。
- ・館内掲示板と図書館ホームページに冷房故障のお知らせを掲載。
- ・7月10日（水）から貸出期間を3週間に延長。

4. 職員への対応

- ・会計年度任用職員12名に首周りを冷やす「ひやっとリング」を配付。
- ・会計年度任用職員には1時間に1度、休憩するよう通達。
- ・エアーファンベストの情報を提供、5人が自費で購入。
- ・職員は、業務に支障のない範囲で年休・夏休を積極的に取得するよう通達。

5. 工事スケジュール

1 5 (月)	1 6 (火)	1 7 (水)	1 8 (木)	1 9 (金)	2 0 (土)	2 1 (日)
海の日・開館	休館日	開館				
	外部工事	(ドリル等の騒音が発生)				
2 2 (月)	2 3 (火)	2 4 (水)	2 5 (木)	2 6 (金)	2 7 (土)	2 8 (日)
休館日	図書館臨時休館					開館
内部工事						

蕨市立図書館 空調機新規設置画像 (R6.7.26 設置完了)

全9台

1F

一般書開架(2台)



室外機(2台)



児童書開架(2台)



室外機(2台)



※現在は安全に配慮して室外機の前にカラーコーンとコーンバーを設置。

事務室(1台)



室外機



整理室(1台)



室外機



スタッフラウンジ(1台)



室外機



2F

郷土資料室(1台)



室外機



通路閲覧席(1台)



室外機



(11) 蕨駅西口新図書館移転に係る検討状況について



①上空から見た駅前広場整備後のイメージ（鳥観図） ②第1工区側から見た整備後の建物とプロムナードのイメージ ③現在の駅前広場 ④工事中の様子（先月19日撮影・B棟建設予定地）



駅前広場は拡幅再整備を行い更に安全便利快適に

駅前広場の整備方針の1つ目は、「安全性の向上」です。

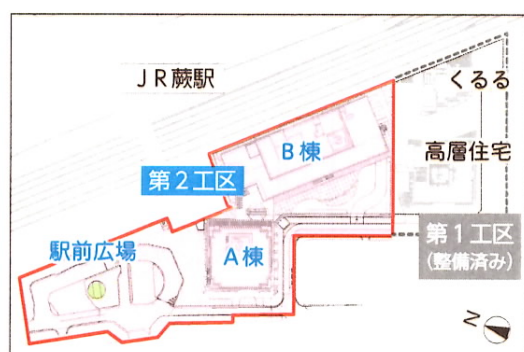
駅前広場は、電車を利用する歩行者や家用車のほか、バスやタクシーなどの公共交通機関の乗降場所でもあり、複数の交通機関の動線が集中しています。再整備に合わせて、民間バスは広場北側に、コミュニティバス「ぷらっとわらび」とタクシーの利用区画は南側に配置することで、混雑状況を改善し、安全性の向上を図ります。

2つ目は、「利便性の向上」です。体の不自由な人が車を乗り降りする乗降場を新設するほか、バスやタクシーが歩道に接して停車することで乗降が楽になるよう、歩道の形状も工夫するなど、ユニバーサルデザインを取り入れます。3つ目は、「快適性の向上」です。再整備により、南側へ約12倍広場を拡幅するほか、駅舎と連続した通路屋根やベンチを整備することで、バス

待ちなどの時間も快適に。また、歩道は3色のブロックにより縞模様が作られ、かつて機織りのまちとして栄えた蕨の特産品・双子織の柄をイメージした、蕨らしい通りとなります。

駅前広場の再整備は令和7年度の後半に開始予定です。多くの人が往来する区域のため、安全を第一に、駅利用者や近隣の皆さんにも配慮しながら、市は今後も再開発組合を支援し、連携して事業を進めていきます。

蕨駅西口再開発事業概要



- 施行者名 = 蕨駅西口地区市街地再開発組合
- 全体面積 = 約1.3㍍（駅前広場 = 約5,100平方㍍、建物敷地面積 = 約7,300平方㍍）
- 施設建築物 / A棟・B棟 = ともに地下1階、地上28階 主要用途 = 商業施設、公共公益施設、住宅施設(415戸)、駐車場
- 竣工 = 令和9年7月（予定）
- 詳細 = まちづくり課（☎433・7817）

期待の声



さとう きよみ
佐藤 清美 さん
北町4丁目

近隣の人も集まる駅前に

再開発事業で蕨駅前に新しいお店や施設が出来るそうなので、市民だけでなく、市外の人でも遊びに来るようになるといいですね。駅前が人でにぎわうと、昔からある市内のお店も活気づきそうです。

未来への飛躍の核となる蕨駅西口再開発事業 駅前広場・公共公益施設の整備計画

「蕨の玄関口の再生と魅力づくり」を目的に進められている蕨駅西口再開発事業。ここでは、リニューアルされる駅前広場と、駅に直結する再開発ビルに開設予定の公共公益施設の整備計画について紹介します。

再開発でまちの魅力発信 駅前広場もリニューアル

1日の平均乗車人員が5万人を超える蕨駅は、電車やバス、タクシーなど市内公共交通機関のターミナルであり、その駅前には蕨に住む人、蕨を訪れる人が行き交う、いわゆるまちの玄関口。そのため、蕨駅西口再開発事業は、蕨が選ばれたまちとして魅力を発信し、未来へ向けて成長するために、とても重要な事業です。

先行して進められた第1工区は文化ホールくるるなどの公共公益施設や高層住宅が整

備され、平成23年度に事業が完了しました。そして、第2工区が、今年1月に着工（左ページ囲み参照）。令和9年7月の竣工を目指して、施行者である再開発組合により工事が進められています。

第2工区では、第1工区に続くプロムナード（遊歩道）や公共公益施設、商業施設、都市型住宅が調和する、魅力ある空間づくりを進め、駅前広場の再整備も行います。広場の完成イメージは上図のとおり。蕨らしさを感じる、新たなまちの玄関口にふさわしい駅前にリニューアルします。

▶線路側上空から見た再開発区域全体の様子（5月20日撮影）



豊かなときを創る ほっとプレイス

新たな公共公益施設

人生を豊かにする学びや出会いが生まれる心地よい居場所を目指し、新たに整備される公共公益施設（行政センター・図書館）を紹介します。

駅直結の利便性を生かし豊かなときを過ごす場に

再開発事業により、駅と再開発ビルが2階デッキで直結し、B棟の3階には、「豊かなときを創る ほっとプレイス」をコンセプトに、行政センターと図書館が整備されます。エントランスロビーのすぐ奥にあるのが、行政センター（下配置図参照）。各種証明書の発行や転入・転出をはじめとした住民異動手続きなどができる窓口に加え、パスポートセンターが設置されます。

図書館は、床面積が現図書館の約1810平方メートルから約2050平方メートルに拡大し、また、ワンフロアの施設となることで階段等が必要なくなる

ため、来館者が利用できるスペースが大きく広がります。入口ゲートを通ると、右側に飲み物も楽しめるカフェスペースと一体的に整備された新聞・雑誌ラウンジがあります。左側の集会室は、図書館の催しや閲覧席など、フレキシブルな運用を想定したスペースに。先に進むと、親子で本に触れ合える子どもエリア

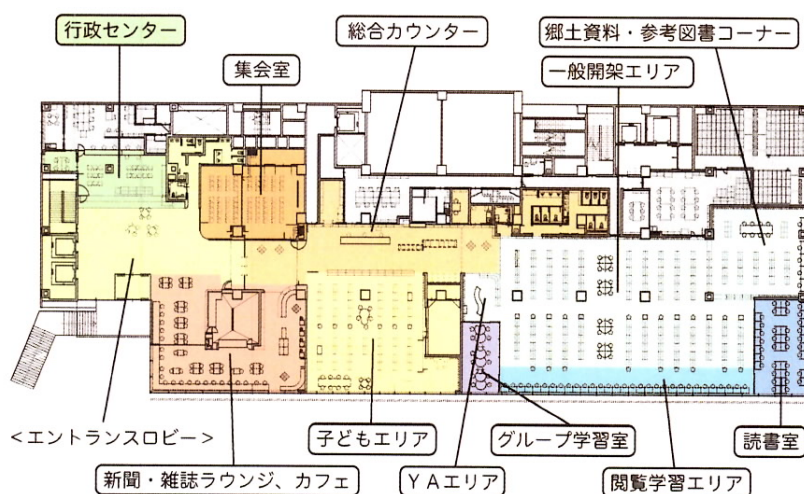
やYA（ヤングアダルト・主に中高生世代）エリア、グループ学習室。その先には一般開架エリアが広がり、窓際に閲覧席が並びます。奥には、静かに過ごせる読書室や郷土資料・参考図書コーナーが配置されます。更に、予約本が受け取れる自動貸出機の導入や開館時間の延長など、利便性も大きく向上する予定です。市では市民の皆さんが気軽に立ち寄り、心地良い、豊かな時間を過ごせる空間を目指し、公共公益施設の整備を進めていきます。

問い合わせ／公共公益施設について
政策課（☎433・7698） 図書館について
同館（☎444・4110）



※上図は全てイメージです

公共公益施設配置図



※配置は状況により変更となる場合があります